



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる
発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師
上ル七観音町637
インターンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容
日弁連が指導・監査で意見 (2面)
総合確保方針・秘密保護法で意見提出 (2面)
保険医年金の生保シェア変更 (4面)
ご用命はアミスまで
◆医師賠償責任保険
◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
◆針刺し事故等 補償プラン
◆自動車保険・火災保険
☎075-212-0303

「社会保障の充実」めざして

民主党国会議員と意見交換

協会は9月1日、民主党の京都選出国會議員との懇談会を開催した。民主党からは、泉健太(民主党京都府連会長)・前原誠司・山井和則各衆議院議員と、民主党京都府連の政調担当者である中小路健吾京都府議會議員、河口靖子木津川市議會議員、そして正木幸一氏(福山哲郎参議院議員・代理)が出席した。協会は垣田理事長、渡邊副理事長、鈴木卓副理事長、磯部理事が出席した。

社会保障政策など5要望伝える

冒頭、垣田理事長のあいさつを受け、泉議員が民主党京都府連会長としてあいさつ。垣田理事長の国会訪



が天井に達したわけではない。「社会保障の充実」は協会と共通しているが、具体的にどこまで社会保障財政の負担が許容できるか、真摯な話し合いが必要とした。

続いて、協会から五つの内容について要望、説明した。①新

自由主義改革と決別し、不戦・平和と国際協調を重んずる国づくりを②安倍・成長戦略による医療の産業化路線に反対し、生命の平等を守る社会保障制度の拡充を③国民皆保険制度を堅持し、都道府県の医療費抑制

主体化は中止を④人々の生命と健康を守り、長寿社会を実現してきた開業医医療の良さの再評価を⑤医療事故調査制度の実施にあたっては、原因究明・再発防止を目的とし、医師個人への責任追及のためのものにならないように。

これを受け、民主党からは山井議員が民主党の社会保障政策を説明。

①については、戦争しないことは最大の福祉であり共感する。②については、理念的には、社会保障の重視は民主党の基本的な政策。混合診療は党内でも賛否両論あるが、国民皆保険の堅持は一致している。③については、通常国会で野党が一致して反対したのは総合確保法だけである。消費税増税時に政権を担っていた民主党にとつて、消費税増税は社会保障充実のためであり、カットばかりの社会保険改革は許せない。介護保険改革による要支援者の切り捨ては、いっせいで地方選挙の争点となる。都道府県による医療費管理について、またしても医療崩壊を自民

がつかえることにならないか。④については、日本のフリーアクセスは世界一であり、開業医の存在が重要。開業医の存在が医療費の高騰を抑える役割を果たしている。⑤は、賛否両論あるが、大野病院事件のような事態は避けなければならない。加えて、山井議員は民主党政権下で診療報酬をプラス改定した。今次改定は実質マイナスで、現場医療機関から消費税をあげたのになぜカットするのかと怒りの声がある。民自公の合意は、消費税増税による増収分12・3兆円のうち2・8兆円は社会保障充実、残りは維持に使うとしてきた。しかし、安倍政権が復興法人

療圏に限られることなどである。不採算地域には自治体病院や地区医師会頼みで自治体型HDC類型などを作らせる目論見のようだ。法人運営の問題も大きな

「非営利」ホールディングカンパニー(持ち株会社:HDC)構想に歯止めを!

2006年の医療法改正以降、医療法人制度改革として医療法人継承問題や「持ち分な

主張

2006年の医療法改正以降、医療法人制度改革として医療法人継承問題や「持ち分な

「非営利」ホールディングカンパニー(持ち株会社:HDC)構想に歯止めを!

2006年の医療法改正以降、医療法人制度改革として医療法人継承問題や「持ち分な

「非営利」ホールディングカンパニー(持ち株会社:HDC)構想に歯止めを!

2006年の医療法改正以降、医療法人制度改革として医療法人継承問題や「持ち分な

「非営利」ホールディングカンパニー(持ち株会社:HDC)構想に歯止めを!

2006年の医療法改正以降、医療法人制度改革として医療法人継承問題や「持ち分な

「非営利」ホールディングカンパニー(持ち株会社:HDC)構想に歯止めを!

本号に案内チラシを同封しています。院内に掲示いただき、ぜひ広報のご協力をお願いします!
医の倫理 - 過去・現在・未来 京都プレ企画
スペシャル対談
「これからの日本の医学 - 過去・現在・未来 - を語る」
日時 10月26日(日) 14時~17時
ところ 池坊学園こころホール
ゲスト 田中 優子氏 (法政大学総長)
参加費 無料・要申込 (先着200人)
第1部 講演「江戸から学ぶ日本の倫理」
第2部 スペシャル対談 古都京都で倫理を語る!
田中優子氏 × 垣田さち子(開業医・西陣) × 吉中文字志(京都市民連中央病院院長)
主催 「医の倫理」-過去・現在・未来-企画実行委員会~日本医学会総会2015関西にむけて~ (問合せ・申込:京都府保険医協会 ☎075・212・8877 ✉info@hokeni.jp)

孔子の言
「義」を見ても
は勇無きな
りがある。先日、反核京
都医師の会が復刻・発行し
た『医師たちのヒロシマ』
を読んで原爆投下直後に調
査と救援に向かった、ある
いは現地の救助活動に携
わった人たちの活動を読ん
だ。その中には、直後の台
風と山津波のために命を落
とした人たちも少なくない
▼それらの人たちの中で
も、医学関係者達は父母
から聞いたことがある人
であつたり、私達が医学部
で教えた人であつたり
するので、実に身近なこと
と感ぜられる。その活動は
まさに「義」である▼こ
ろで最近、集団的自衛権が
議論されるようになった。
これも「義」を見て...と理
解できるのかもしれない。
そして、それに沿つてまた
医師などの医療従事者が戦
地に赴くようになるのかも
しれない▼たしかに傷つ
いた人達の救援に赴くのは
「義」でもあり「仁」もある
が、直接我が国と敵対して
いたわけでもない勢力を攻
撃し、そのために傷ついた
人達の救援に向かうという
のはいわゆる「マッチポン
プ」であり、「火事場泥棒」と
さえ言われるおそれがある
のではないのか。特にそれ
によつて何らかの利益が得
られる場合にはなおさらでは
ないか?▼参考文献『医師
たちのヒロシマ 復刻増補』
(つむぎ出版)『軍医殿!腹
をやられました』(かもが
わ出版)『空白の天気図』
(文藝春秋) (mykonos)